

再定住地周辺に暮らすブッシュマンの間にみられる雇用体系の変容

平成 25 年入学
派遣国：ボツワナ共和国
関口 慶太郎

キーワード：狩猟採集文化，ブッシュマン，文化変容，雇用関係，定住地

・対象とする問題の概要

ボツワナ共和国には、ブッシュマンと呼ばれる、比較的近年まで狩猟採集を主な生業としてきたとされる人びとが暮らしている。日本におけるブッシュマンに関する研究は、京都大学を中心として、幅広い分野について、1960年代から現在にまで続けられてきた。初期はいわゆる伝統的な狩猟採集生活を営む人びとの社会にみられる諸特徴を明らかにする研究[田中 1990, 菅原 1986 など]が中心に行われてきた。しかし、1997年に政府主導の再定住が実施されて以来、貨幣経済や、さまざまなインフラストラクチャー、賃労働などの近代的様式がブッシュマンの生活に取り入れられる様子が注目されている。それに伴い、ボツワナにおいて遠隔地（Remote Area）とされる地域に暮らすブッシュマンたちの生活や文化自体も変容しつつある様子が報告されている[丸山 2010 など]。

・研究目的

先行研究において長期にわたり調査が行われてきた再定住地であるコエンシャケネに滞在し、再定住以来 15 年以上が経過した現地の人びとの生活を概観する。なかでも、貨幣経済の影響を受け、ブッシュマン社会にみられるようになった雇用関係に注目し、再定住地における住民の生計戦略を描き出すことを目的とする。また、新たな調査地域の選定も行い、そこでは、ブッシュマン社会にみられる生活様式の変容の過程を、観光業への出稼ぎを介した都市部とのつながりなど（写真 1）、新たな事例を取扱いながら描くことを目指す。滞在中は、現地の住民の協力を得ながら、可能な限り現地語の修得に努める。



写真 1 観光ロッジにおけるブッシュウォーク

・フィールドワークから得られた知見

コエンシャケネでの滞在中は、政府が主導して行う干ばつ対策救援事業への就業や、住居の修理や水汲みをするなどの住民同士のあいだでの雇用関係を通して現金収入を得て暮らす人びとの様子を概観することができた。さらに、再定住地に小学校がつけられて以来、中学校以上の教育段階まで進む者が

増えるようになった。その中から、高校を卒業し観光ガイドの職に就いた者と、大学まで進み、コミュニケーションテクノロジーの学位を取得した者の2名を対象としたインタビューを行うことができた。一方で、丸山[2010]の研究で報告されたような、定住地から少し離れた位置に住居を構え暮らす人びとの家に滞在することもできた。このような生活においては、配給食糧や狩猟で獲れた肉の分配といった、現金を介さない住民間でやりとりが大きな意味を持っているように感じられた。

また、あらたな調査地として、カッガエという定住地を選定した(写真2)。



写真2 カッガエ定住地の景観

カッガエはコエンシャケネよりも人口が少なく、定住地全体の状況や、住民同士のあいだでみられる民族間の関係性、日常的なやりとりに注目した研究を行うには適していると考えられる。ここでは、仕事につかず、酒場で一日を過ごすような(写真3)、飲酒の問題も目に付き、定住化に象徴される生活様式の変容の中で、ブッシュマンが抱える苦悩や葛藤も垣間見え、今後追究すべき課題が浮き彫りとなった。



写真3 定住地、酒場に集まる人びと

目標としていた言語学習については、現地語であるグイ語の修得までは至らなかったものの、多くの時間をともに過ごした助手から少しずつ教えてもらうことで、言葉に親しむことはできた。

・今後の展開・反省点

今回滞在した時期は、乾季の最後であり、人びとは政府の食糧配給に依存した生活を送っていた（写真4）。そのため、定住地を中心に暮らす人びとの日々の生計状況を詳細に把握することができなかった。しかし、学校教育の定着の影響を受けて都市での暮らしを経験した世代の人びとの間で、主に観光業への従事など、出稼ぎをしたことのある人びとの事例に触れることができた。



写真4 食料配給の日

ボツワナ政府には、鉱物資源依存からの脱却のため、観光業の展開を目指す動きがみられる[Ministry of Finance and Development Planning 2009]。その中で、自然資源の管理を地域に暮らす人びと主導で行おうとする政策も行われている。この流れを受けて、ブッシュマンのなかでも観光業を主要な生計戦略として選択する人びとが見られつつある。付近の集落への移動や、出稼ぎなど定住地内にとどまらない生計活動や人間関係の形成を明らかにしていくことも必要であると考えられる。

参考文献

- 菅原和孝. 1986. 「ブッシュマンの日常行動と集団構造」伊谷純一郎, 田中二郎(編)『自然社会の人類学 - アフリカに生きる -』アカデミア出版.
- 田中二郎. 1990. 『ブッシュマン - 生態人類学的研究 -』思索社.
- 丸山淳子. 2010. 『変化を生きぬくブッシュマン - 開発政策と先住民運動のはざままで -』世界思想社.
- Ministry of Finance and Development Planning. 2009. *National Development Plan 10 April 2009-March 2016 Volume 1*. Government Printing and Publishing Service. Botswana.